



建設コンサルタンツ協会関東支部は1日、2009年度の活動方針などについて記者

会見した。写真。新支部長に就任した大島一哉建設技術研

究所社長は「支部の活動は2事業本部は「支部長をサポート

つある。1つは建コン協全体として、地域の問題を一つ

の方針を関東支部でも推進する。同時に、地域の事情を踏

副支部長として4年目となる

大島支部長は、関東整備局

から過去にエラーのあった業

務を数件選定してもらい、

「納期など業務条件やどうい

う体制で実施したのかなどを

担当者にヒアリングして、ま

とめたものは整備局に報告す

る」と説明した。こうした作

業を通じてミスが発生する根

本的な原因を探り、10月に開

く建コン協の品質セミナー

に、結論を間に合わせたいと

述べた。

建コン協関東

地域委と交流拡大

ミス原因追究で特別委

また役割も果たさなければ 木下哲日本上下水道設計社長
いけない」と指摘、9都県は「廣谷(彰彦)支部長のと
どに設置している地域委員会に地方を重視するといこと
との議論の場を従来よりも増で、地方をかけずり回った。
やすとともに、「地域研究員 大島支部長も地方を強調して
も含め会員を増やして一緒にいるので、この路線を守りた
活動したい」と抱負を述べた。い」との考えを示した。

コンサル業務の成果品でミ

スをなくすため、関東地方整

備局と連携して取り組む組織

として、品質向上推進実行特

別委員会を設置した。

大島支部長は、関東整備局

から過去にエラーのあった業

務を数件選定してもらい、

「納期など業務条件やどうい

う体制で実施したのかなどを

担当者にヒアリングして、ま

とめたものは整備局に報告す

る」と説明した。こうした作

業を通じてミスが発生する根

本的な原因を探り、10月に開

く建コン協の品質セミナー

に、結論を間に合わせたいと

述べた。